

新板
增補
毛吹草
五止

5
2925
5



2925
5

新板
塔補
毛吹草
穀句
起

心經馬平領目錄

元日

春部

子日

初黃

七葉

初年

梅

寫

霞

殘雪

去冰

去雨

木目

柳

去草

雲

去葉

蕨

青月

松

枕花

杏子

花

櫻

小葉

海棠

沈丁花

躑躅

藤

欵冬

蝶

素子

蛙

歸鴉

鴛子

西宮雀

鸞

春部云

櫻翅



暑秋 去約 永日
曲水寫 三月五 雜云

夏部

更夜	余花	新樹
善楓	卯花	牡丹
芍藥	牡丹	芙蓉
芥子	風車	常春
夏草	美人草	夏草
檣	柁子	迷花
螢	席子	時鳥
水鷄	秋花	蟬
蒼蒲	水草花	結
早苗	五月雨	多竹
多雨	短夜	梅雨
		夏月

來

此小角豆

畫魚

夕魚

蓮

海魚

白雨

扇

網魚

雨後

泉

雜云

秋部

初秋	七夕	一葉
桐	秋菊	秋網魚
秋草	秋蟬	秋扇
露	霧	秋
物秋	木槎	女郎花
桔梗	秋	蘭
薄	芙蓉	花葉
秋草花	芭蕉	木槎
蜘蛛	柳葉	秋田
虫	鹿	鷹

五郎の日記のゆき佛
ちの泡とほをたけぬ女
るる山頂にへりて
たのちるるるるるる
清めらるるるるるる
居るるるるるるるる
ゆるゆるゆるゆるゆる

貞女
先忠
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女

春水

まの目おるるるるる
おいごるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる
まの目おるるるるる

貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女

春雨

春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛
春雨の日記のゆき佛

貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女

本目

花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記
花の種と年と本目の日記

貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女

柳

みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり
みづの目も多にあり

貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女
貞女

水さやうりりそら河柳
 ねねらひそら河柳
 風吹そら柳の影をさうら
 出る目ら初りしゆひさ柳
 風のよのうらみみさる柳
 ねあうのさまるやあ乃柳
 府さうあなやあ乃の柳
 ぬら宮不御系と成柳

去草

はひ今を里うりすうらあが
 うらあを林うけふみさあが
 柳うらあを林うけふみさあが
 藤さあを林うけふみさあが
 あらあを林うけふみさあが
 花さあを林うけふみさあが
 まの日のわりしあが
 かけあを林うけふみさあが
 藤の藤うらあを林うけふみさあが
 きんや風のひさあが

廿五

まん中あさけり一庭のか
 まん中あさけり一庭のか
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが

去草

はらあを林うけふみさあが
 はらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが

蕨

うらあを林うけふみさあが
 うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが
 藤うらあを林うけふみさあが

春月

まてみよおのちあひまの月
月わさくすくはあやとりは夜
乃月のみ暮希ちあはまの夜
花のえんふみ初月影月夜
雲水にわはる月く影月

まき

ほのんかきつ死をほしく様
あうねつらひあは凡よむつた

返り歌

面くさめし神もあはれまは枝
船のうらなれはとらひ入後ふ
あのみふふしあはれやうは枝
日ねてくとりりとかくは枝
いせ枝らわははささるあは枝
いせふり一花やうらうらむ枝
あふふふり宮やまふりら枝
ひくくふりみらる眼のむつ
まふ中ふ勝とあはれそは枝

枕詞

仙術の年とあはれの枕の死
寝ふつらあ牛のくくは枕のあ

花のほくは枕のまひらん本徳
枕の内や二日ひいてく白障
くあ酒よのひは枕文とくうか
いよも花まきせくうりりり

香子

もはぬわんとのがうのまあは
唐りのの自ふ通うやまの凡

花

みされてふ目たはれも折花盤
芳野よりの花やひらめてはまの
えらうな花とみせんの何うり
人いわたるらんあはれたのま
種まの花ふらんやう花さうま
とひくくらふあはれや死のわ
々々のまやあうはれまのま
けん花うりいひらとまら
あねたをまあはれけりう花
風のくは花のまらあてう
まはれましけりうあはれま
細く花くくはくは花のま
あはれまは分てもまら月と花

胸をえんの花乃坪のより

花

あふより川つかりつ花を水邊

日

あつらふ花のよや山よとちのりーのみ

日

花の思や嘆とちたよ二まひり

花

由とよりまひりそをわすれたる

品

巴巴巴巴の文よまよまはあむ

花

長面やすそ昔人魔花の枝

花

面小唄を天のあり子よまのむ

花

は方山の花を平人の胸の目

花

盛りの思や嘆とちたよ二まひり

花

わらわりのかのかのさたさるん

花

道とこの花やありのさるり

花

舟の懸ハ釣の花のつかみ

花

花は花おろさうとたいふ山際

花

みまよこころをたよたよん

花

中一才をさしはいふ花の思

花

花の枝と折るうさうさる

花

嘆あむたき喜業そ花の面

花

花よまぬ人ぬりしまの山

花

をぬれ枝やまに材をさるり

花

月花より二首流しひのり

花

常とよけ花は花をみ

花

花とんトさんせぬ人の心を

花

風も花のおよひさるのり

花

又もみん空をよは天と地は

花

思ふそこの花をわらうの思

花

思ふそこの花をわらうの思

花

花は花をわらうの思

花

花は花をわらうの思

花

花は花をわらうの思

花

花は花をわらうの思

花

行くくしゝのぞくやうもまほ 貞盛
七宿の便ら向くそし様 丹波
わらし純の目そそとそ様 重貞

十本花

なごらそくしんもさくもまほ 忠也
かこい金浪や神撥ふま純 重貞

海音集

海音集の初うら初うら花は 道二

沈丁花

美の目そそくしんもさくもまほ 徳親

御踏

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

みよまもまおらうら初うら花は 忠勝

藤

おとこかきしんもさくもまほ

おとこかきしんもさくもまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

うちの棚やんのかうらのまほ 長可

花小菖をえや強うけつひらうたき 花を

歌々

山吹のはりりへゆきを袋うか 重方
おきてお破りしん花うけ 友

蝶

若乃世て花てううううた蝶 重代

花の枝や花のまひのり外を 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

花のまひをうし花は舞お蝶 重代

重代

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花一川よそいおたとこくう花 徳玄

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

花小凡不たよみうう蝶乃ゆめ 貞盛

貞盛

をうらなひの節し出さるるまゆり 良作
野不出してさす千の三まゝの巻物 市ね

新曲

今しゆりさうくやがり籠りし 正利
あつた天の戸口の入らざり 忠房

曲多の巻

舞の作れしうら流る井 留と
うら舞二曲多の巻の外

二月書

あまのらさくやとさうか 弘永

新巻

とみりしめし

串をみお本をまめはむ新巻 化家

日澄千一ふの町懐くうりて 守永

何のほのまやひやあつたんま 守永

何のほや人のみらうう澄千一 守永

うらあひはの舞いささみか 化家

舞と揃てよとつじひま 恒元

夏 大歌

花のまじりさうくさうさう 弘永

まじりさうくさうさうさう 弘永

まじりさうくさうさうさう 弘永

餘花

あつたあつたあつたあつた 健元

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

新樹

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつたあつたあつたあつた 弘永

あつ相

秋あつてあつたあつたあつた 正保

卯花

卯花のつらさかちかた花を木
 みる花は人のやがてとての事
 恙なく咲くやうのさの定うと
 卯花はとて花のつらりと咲か
 卯花はとて花のつらりと咲か

牡丹

花の香あがりてくがえんの事
 牡丹花はとて花のつらりと咲か
 牡丹花はとて花のつらりと咲か

芍薬

芍薬花はとて花のつらりと咲か
 芍薬花はとて花のつらりと咲か

牡丹

牡丹花はとて花のつらりと咲か
 牡丹花はとて花のつらりと咲か

芙蓉

芙蓉花はとて花のつらりと咲か
 芙蓉花はとて花のつらりと咲か

風車

風車はとて花のつらりと咲か
 風車はとて花のつらりと咲か

常夏

常夏花はとて花のつらりと咲か
 常夏花はとて花のつらりと咲か

持たぬ中をうらわすたまひは
嘆くうらわすのたひはまの所
ふたへんふたへんふたへん
おらへんふたへんふたへん
石竹や石竹ふたへんふたへん

百合

ふたへんの花うらわすふたへん
鬼ゆりの花のうらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん
ふたへんの花うらわすふたへん

美人草

美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん
美人草のうらわすふたへん

文彦

文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん
文彦のうらわすふたへん

橘

橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん
橘のうらわすふたへん

梅

梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん
梅のうらわすふたへん

迷花

迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん
迷花のうらわすふたへん

新くあはれはる橘やあはれはる
あはれはる橘やあはれはる

花よりひなたと穴とすうきん 安和
常火とすうきんは池を池の水 池云
枇杷焼くはうらみの茶にそふ雲 焼く茶
浦んそそまはらり火を雲 雲火
雲火とふくらふふらりの月と水 月と水

改

園の夜も影もかろくわらた夢 光と
とまねてくんとおひこむ影の 心勝
夕風を影をうつるよき芥子 改云
ゆきを影のすひに似ぬか 白一
数拍よ一かきすん花のふか 永流
影の影かかこふ方の影か 白雲
影の影かかこふ方の影か 守夜
影の影かかこふ方の影か 守夜
影の影かかこふ方の影か 守夜
影の影かかこふ方の影か 守夜

彈

友の赤いあしをきくまきぬ 志致
鳴りくはかりしうきまきぬ 志致
池のうきまきぬとくまきぬ 志致
衣まきぬとくまきぬとくまきぬ 志致
風音かかこふ方の影か 志致

水鶏

鶉

彼そへいさくたぐ一の水鶏亦 利法
ゆきまきぬとくまきぬとくまきぬ 一味
ゆきまきぬとくまきぬとくまきぬ 一味
ゆきまきぬとくまきぬとくまきぬ 一味
ゆきまきぬとくまきぬとくまきぬ 一味

高麗

引人のさけあまきけぬとくま 正夜
常備力のみまらぬとくま 正夜
高麗力のみまらぬとくま 正夜
まらぬとくま 正夜
まらぬとくま 正夜
まらぬとくま 正夜
まらぬとくま 正夜

酸

酸酸よりはかりく 家系

世後門大と流りてやとふ愛 多叙

泉

泉のしをまきくふた泉介 白依

雜夏

夏夏の夜に中もたれ菊下 宗光

赤可遊音

昔もあつた伊豆の凡の夜を 守光

母の追音

くろくか神の社の古用下 日

一夏のゆきふ身しふあり 徳元

末のまわりとの道氣つふ草 白土

そはふ小圃にかさく草 青木

あふれ入日蒜の根とて 壽

晝寝毎ひらの根は又まき 壽

秋 初秋

日不見物しにせよ今物秋 安知

秋果めく世ふあふ所の文目式 弘永

えいのもまをわやくふあさ 三重

七ツ

七ツの縁世はたかりをさす 三叙

天ありたれ

ちきりつらん七ツつめのま 三叙

たかひくそと織や孫くひの糸合 白土

宿しらん七ツ天のつわ 宗治

あふ夜をどむまはぐりの荒代 正利

七ツの縁布きまき天川 徳元

一葉

一葉をせえさうつかど始ふ 三友

一葉の舟のあはやあふの 水次

たさかう柳の一葉とみ 康耳

秋凡のあつた一葉の舟を 三叙

一葉の舟春通や秋の舟 一正

一葉やあつた凡の舟を 九松

一葉つ煙舟しるも時 徳元

一葉の舟おさんや 徳元

柳

風中らあつたまきり 徳元

柳のしりぬきさうき 徳元

舟の水よふさうき 守程

柳

わがふしりきこえおら系柳 春可
秋風はけしきくまわ柳くも 正年
煉煉とて八金糸とらわ柳氏 西条
秋風のたれ糸のちさ柳くも 忠也
うさ糸と柳あう糸柳くも 弘永
葛城やちさの柳と柳あ 昌憲

秋細條

涼めそそよふらうら秋の凡 長好
なわつさる糸るま秋の凡

秋帯

木に流すのりさ糸と糸糸 吉行
長尾とてうら秋まて糸糸 吉信
糸まて糸糸秋の田の糸糸 吉房

秋蟬

秋の蟬はあ月さ乃付あう糸 昌憲
はまののねとくの蟬とま糸 宗利

秋扇

秋まてとてわの扇すま糸糸 昌憲
扇とけといま糸糸糸糸糸糸 長

扇

扇とて月とて糸糸糸糸糸 徳元

追ふ糸

追ふ糸はあ糸糸糸糸糸糸糸 重光
追ふ糸はあ糸糸糸糸糸糸糸 昌

追ふ糸

追ふ糸はあ糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
追ふ糸はあ糸糸糸糸糸糸糸 糸糸

糸

糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸

糸

糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸
糸はあ糸糸糸糸糸糸糸糸糸 糸糸

糸頭

花よりいそぐるふらぶの菊尊
政云
徳元

徳結

身がうまるといふ結とちり
言致
徳元

切家射

とらふものけりお射るん結射
寧

何別本本たすりし

けあふあふたなあふお射
言致

水石の夜の結りりりりり
昌玄

いろ糸はの田んわら結射
重芳

下ふけあふの結とちり射
宗嗣

撫りかろわむあふり射
徳元

酒よりあふり射射
一正

酢とあふり射射
一正

新世秋

けりてよりまきつ結射
一正

あふりあふり射射
宗嗣

水石よりあふり射射
徳元

何別本本たすりし

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

あふりあふり射射
宗嗣

楊子の心は心ののきん美の場
長きことそを春のゆき露茶

春のさくら

いさよいにさ ちやんさひ

なまきしん ちやんさひ

なひひあひ ちやんさひ

まじのさへ ちやんさひ

長きことし ちやんさひ

めひかんさちんひちんあまぶちん

えいさちんちんちんちんちんちん

れいさちんちんちんちんちんちん

折りの花冠

ちやんさひ

遠のちんちんちんちんちんちん

ちやんさひ

花菜のちんちんちんちんちんちん

日

春

田舎のちんちんちんちんちんちん

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ちやんさひ

ひびきをてらうてよめ花の多き
うたひびきうたふらうた年うた
花のまらうらうらうたまらうら
身うたあらうたまの川うたこ
花深のうたあひらうたあうらうら
よ花まてとせとひらうらうた
響く心花のまらあてとせうら
さうらうたひらうたまの川
うらうらのひらうたうたうら
まらうたうたあひらうたうた
まらうたうたあひらうたうた

夏

鬼の本あつらうのうらうらうた
花のうらうらうらうたうた
うらうたうたうたうたうた
花のうらうらうらうたうた
うらうたうたうたうたうた
うらうたうたうたうたうた
うらうたうたうたうたうた
うらうたうたうたうたうた
うらうたうたうたうたうた
うらうたうたうたうたうた

秋

あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ
あきくさあきくさあきくさ

おほいのみわざりたるすまひ

けりやとむとあはれをさす

すまひのひあしてまのあはれ

あはれいとおとりのあはれ

りけりやとむとあはれをさす

いそはあはれいそはあはれ

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

名

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

あはれいそはあはれいそは

かきしるしをたしむる

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

あつたてのしるし

光秀一	忍長一	多光一
白雲一	雲成一	西次一
法親一	常法一	守仁一
如必一	多葉一	光英一
多只一	重一	子一
無一	留一	終一
月一	室一	密一
以一二	西一	地一
月一	吉一	如一
如一	德一	去一
利一	常一	如一
康一	新一	光一
正一	實一	一
紀一	信一	一
空一	信一	一
如一	信一	一
知一	利一	一
有八	友一	一
重一	政一	一
廣一	政一	一
康一	政一	一

寬記二 射部一 信安七
 信全四 如賀一 可授二
 右外
 紀行一 丹波一 丹波一
 善法二 服部三
 白教合 武子白
 櫻名 武百六十八人

毛吹草平卷外初純

寬文十二壬孟春良辰

洛下

西澤太夫衛板

刊

棟
棟

新
厚

日

生
拾

过者
而
人

过者
而
人

